

今週のトピック – 2015年11月2日

ここ数週間の間、世界の主要中央銀行は相次いで金融政策の枝分かれというテーマが依然として存在することを投資家に想起させました。

【分岐点】

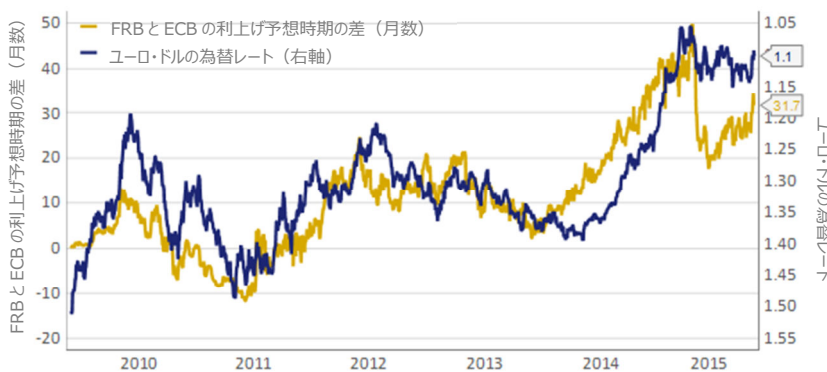
中国人民銀行(中央銀行)は、政策金利である銀行の貸出基準金利及び預金準備率をそれぞれ引き下げました。ブルーベイでは、今後数カ月で中国当局が更なる金融(及び財政)緩和を行うと予想しています。欧州中央銀行(ECB)も、預金準備率の更なる引き下げ、及び追加の量的緩和(QE2)を積極的に検討しています。これらとは対照的に、米連邦準備理事会(FRB)は先週、12月16日に開かれる次回会合で9年振りとなる利上げ開始を検討することを示唆しました。



デビッド・ライリー

パートナー兼クレジット戦略ヘッド

図1. 金融政策見通しの枝分かれがユーロ・ドル為替相場に与える影響



出所: Macrobond, Bloomberg, Morgan Stanley, 2015年10月29日及び10月30日時点

今週のチャートでは、金融政策に関する見通しの変化が為替相場に与えている影響を考察します。黄色い線で示されているのは、FRBとECBの利上げ予想時期の差(月数)で、青色の線で示されているのがユーロ・ドルの為替レートです。10月初めより、市場が織り込んでいる利上げ開始時期の差は24カ月から32カ月に増加しました。この間、ユーロは米ドルに対して約3%下落しました。しかしながら、ユーロ及び他の主要通貨に対する広範なドル高基調が再び勢いを増すためには、年末のFRBによる利上げ開始及びその後の利上げ見通しの上方修正、さらに他の主要中央銀行(特にECB)による更なる緩和策が必要となると見えています。

ブルーベイ・アセット・マネジメント・インターナショナル・リミテッド
関東財務局長(金商)第1029号
加入協会: 一般社団法人日本投資顧問業協会

本資料は受領者への情報提供のみを目的としており、特定の運用商品やサービスの提供、勧誘、推奨を目的としたものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。本資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、当社がその正確性、完全性、妥当性を保証するものではありません。記載された内容は、資料作成時点(2015年11月2日)のものであり、今後予告なく変更される可能性があります。過去の実績及びシミュレーション結果は、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。なお、当社による書面による事前の許可なく、本資料およびその一部を複製・転用・ならびに配布することはご遠慮下さい。当社と金融商品取引契約の締結に至る場合には、別途「契約締結前交付書面」等をお渡します。当該書面等の内容を十分にお読みいただき、必要に応じて専門家にご相談の上、お客様ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。